

We are GFL!

GFL生への挑戦は、 より充実した 大学生生活の始まり。

日常がグローバル化し、異文化への理解や異文化との交流が必須になった現代、世の中を牽引するのは、Globalな視点とFrontier精神、そしてLeaderの資質を兼ね備えた人材です。GFLならではの多くのプログラムを通じて、語学スキルやコミュニケーション能力の向上、物事を多角的に見る視点の獲得など、グローバル人材として活躍できる素地が磨かれる様子を、先輩たちの声から感じ取ってください。



留学や、イベントの企画運営を通じて、貴重な経験と広い視野を得ました

教育・情報 GFL コース

共同教育学部 理科専攻3年
金井 萌華さん GFL2023年度生
群馬県立高崎女子高等学校 出身

私がGFLに入ったのは、日本の教育を国際的な視野で見つめられる人材になりたいと考えたからです。手厚い留学支援を活用してアメリカの教育現場をこの目で見て、留学生との交流を通して英語力と多角的な視点を養いました。さらに、GFLでできることは私の想像以上で、企画書を作って自分で活動を立ち上げることもできました。イベントをゼロから形にした経験は私に大きな自信をくれました。仲間と協力して一つの企画をやり遂げたときの達成感は何物にも代えられません。専門分野が異なる仲間たちは、いつも自分にはない新鮮な視点を授けてくれます。情熱を持って高め合える仲間との出会いは、私の一生の宝物です。GFLは、あなたの「やりたい」を全力で後押ししてくれる場所です！皆さんも、ここで将来の糧になる経験をしませんか？



自身を成長させ、仲間との協働を育む豊かな「環境」が、GFLの魅力です

教育・情報 GFL コース

情報学部 情報学科2年
穴戸 恒星さん GFL2024年度生
栃木県立足利高等学校 出身

GFLの最大の魅力は、自らの望む「環境」を自らつくり出せることであると考えます。GFLでは自分のやりたい企画を実現に移すことができます。GFL内の、同じような志を持つ仲間や、違う分野に興味を持つ仲間たちと助け合い、力を合わせて運営や企画に取り組み、同じ目標を持って切磋琢磨することができます。自分一人では踏み出せなかった一歩も、仲間となら踏み出すことができます。また、その一歩を踏み出せば、全力でサポートしてくれる先輩や教職員の方々もいます。GFLは、自分の成長のきっかけをつくる挑戦の環境や、それをより伸ばすための環境、より大学生活を楽しむために人とのつながりを持つ環境など、多くの「環境」をつかみにいけるプログラムです。自分の成長や多様な経験を求める人はぜひチャレンジしてください。



主体性を持った仲間の姿に心動かされ、「自分も挑戦してみたい!」と思えます

医理工 GFL コース

医学部 医学科3年
田口 竣貴さん GFL2023年度生
群馬県立高崎高等学校 出身

GFLは、志の高い仲間と囲まれ、日々大きな刺激を受けられるコミュニティです。留学や自主企画の立ち上げ、留学生との交流など、勉強に留まらず本気で挑戦している人ばかりです。自分の信念に従って一歩踏み出し、夢を叶えている仲間が周りにいると、自然と心動かされ、「自分も挑戦してみたい」と思えます。私はこれまで語学留学や海外研修に3回参加しましたが、参加の決心がついたのは間違いなくGFLのおかげです。GFLはまた、他学部生や留学生と出会える貴重な機会でもあります。学部が違うと知らないことばかりで、視野が広がります。留学生の話から知る異文化にはいつも驚かされ、日本と世界の常識が大きく異なることに気付かされます。GFLに参加したことで、医学の勉強だけで終わらない、刺激に満ちた大学生生活を送れています。



多様な考えや価値観に触れて知見が広がり、学びを深め続けていける環境があります

医理工 GFL コース

医学部 保健学科 看護学専攻2年
相蘇 紗良さん GFL2024年度生
群馬県立太田女子高等学校 出身

GFLに応募したのは、国際的な活動に興味があったこと、自身の専攻以外の新しいことをたくさん経験していきたいと考えたからです。GFLには、自分の興味や関心を大切にしながら、考え方や価値観の違うGFL生同士が刺激を与え合い、さまざまなことに挑戦できる環境と、それに対するサポートがあります。2025年開催の医学祭では、GFL自主企画として、保健学科GFL生が運営を行う「昭和English Café」を出店し、リーダーを担当しました。留学生と協力して、外国の飲み物を複数種類販売し、食を通して気軽に異文化に触れられる機会を来場者に提供することができたと考えています。GFL自主企画では、企画立案から運営まで学生が主体となっていくため、今回の経験を通してリーダーシップの取り方や協働の方法、その重要性を学びました。



早期からの研究参加と幅広い視野の獲得が自分の可能性を大きく広げてくれます

医理工 GFL コース

理工学部 電子・機械類
電子情報通信プログラム3年
中村 拓巳さん GFL2023年度生
群馬県立前橋高等学校 出身

理工学部GFL生だけの特権、それが「早期研究室配属」です。私はこの制度を活用して、通常より1年6か月も早く、2年次の夏から研究室に入り、AIと深度カメラを組み合わせた「人間の歩行解析システム」の開発に挑戦してきました。まだ講義で習っていない技術にも触れ、分からないなりに先輩や先生方に支えられながら研究を進めたことで、2年終了時の学内発表会では「優秀発表賞」を受賞することができました。さらにGFLには、医学や教育など異なるバックグラウンドを持つ仲間と議論し、互いに切磋琢磨できる環境があります。技術力の向上に加え、多角的な視点を得られることは、将来エンジニアや研究者を目指す上で大きな糧になります。「誰よりも早くスタートを切り、自分の可能性を最大限に広げたい」、そう願う皆さんをお待ちしています。



GFLの活動を紹介しています。ぜひご覧ください。



X
@GundaiG



Instagram
@gundai_gfl



GFL
ホームページ

GFL についてのお問い合わせはこちらへどうぞ

✉ gfl-admin@ml.gunma-u.ac.jp